

新しい介護予防事業が始まります

2017年4月から新しい介護予防事業（介護予防・日常生活支援総合事業）が始まります。介護保険の要支援者へのサービスが国から市町村に移行し、さらに介護保険の認定者以外の65歳以上の方は、一人ひとりの状況に応じた介護予防や生活支援のサービスを選択できるようになります。

住み慣れた土地で生きがいを持って安心して暮らしていくために、積極的に介護予防に取り組みましょう。

現在の制度

介護給付（要介護1～5）

変更なし

移行後の制度

介護給付（要介護1～5）

介護予防給付（要支援1～2）

変更なし

介護予防給付（要支援1～2）

訪問看護、福祉用具等

訪問看護、福祉用具等

訪問介護、通所介護

市町村に
移行

統合

<介護予防事業>

- 要介護状態となる恐れのある高齢者
 - 二次予防事業
- 高齢者全般
 - 一次予防事業

<新しい介護予防事業>

- 要支援1～2、それ以外の者
 - 介護予防、生活支援サービス事業
 - ・訪問型サービス
 - ・通所型サービス
 - ・生活支援サービス（配食等）
 - ・介護予防支援事業（ケアマネジメント）
 - 一般介護予防事業

※ 豊田市ウェブサイト参照

めだか

さんくろうニュース

2月号

2017年 (No.72)

巻頭 新年にあたって

Topic リハビリテーションの質の向上に向けて
～指導施設の認定を受けました～



ゆみ

広報誌名「めだか」は、当院の中庭でみんなに愛でられ育つめだかのように、親しんでいただきたいという思いから名付けられました。

めだか 72号 (2017年2月) 年4回 (2月、5月、8月、11月) 発行

表紙絵: 「雪の花束」 坂尾 有美

発行責任者: 加藤 真二 発行: 医療法人 三九会
〒471-0035 愛知県豊田市小坂町7丁目80番地
TEL 0565-32-0282 (代) FAX 0565-35-2570

外来診療のご案内 サンクロー
診療予約専用 ☎ 0565-35-3960



三九朗病院
携帯サイト

新春にあたって

当地域における 三九会の役割

理事長 加藤 真二



2025年問題といわれている超高齢社会にまた一步近づきました。

ただ、当地域（主に豊田市とみよし市）では団塊の世代が75歳以上の高齢者に達する年である2025年に高齢者の増加が止まらず、2040年頃まで増え続けることが予測されています。高齢者人口が増えてもきちんと医療・介護が受けられるように、当地域の医師会である豊田加茂医師会や豊田市、みよし市をはじめとした関係団体が、現在、一生懸命にシステム構築に取り組んでいます。

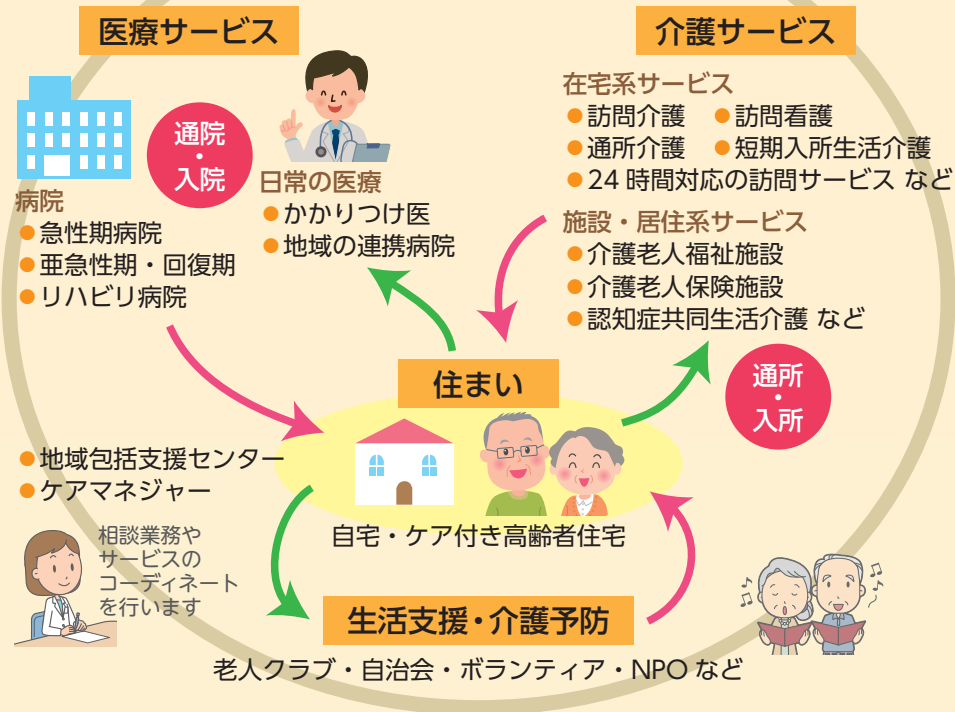
三九会も本体である三九朗病院を中心に、介護系もデイケア（通所リハビリ施設）、デイサービスの「ノアノア」、リハビリを行うためのデイサービスとして青木町に「颯とよた」、金谷町に「さんさん」を有するほか、居宅介護支援事業所、訪問リハビリ、訪問看護などにも力を注いでいます。また疾病予防のための健康増進施設として健診センター、メディカルフィットネス SHIN-SHIN とよたも有しています。

三九会はこれらの施設・事業をフルに活用しながら、当地域に役に立てるようにこれからも邁進していこうと思います。

今、医療・介護・生活支援などを、住み慣れた地域の病院や施設で役割を持って一体的に提供する『地域包括ケアシステム』の構築が全国的に進められています。医療においては、これに加え地域医療構想という、地域内での病床の役割の明確化も計られています。当法人の主な役割は、退院後の生活・人生の質を少しでも高い状態で送って

地域包括ケアシステムのイメージ

おおむね30分以内に必要なサービスが受けられる日常生活圏域を想定



ただけるようリハビリを中心に援助していくことだと考えています。病気などで生活機能、運動機能が低下した方を、発症前に近い状態にし、麻痺や障がいが残った状態でも自立した生活ができるよう、可能な限りサポートします。この役割がしっかり果たせるように、今年は、地域連携に加え法人内の連携を強化します。職員一人ひとりがホスピタリティーマインドを持ち、与えられた役割を果たし、「ここに来てよかった」と思っただけの法人を目指します。

当法人にご意見などございましたら、どんどんお聞かせください。

今年もよろしくお願ひいたします。

新入職員を 紹介します

聴いて
みました

- ① 得意なこと
- ② 最近知って、びっくりしたこと
- ③ 今後の人生でやりたいことを一つ

おぼた さおり
尾畑 佐織



看護師
愛知県豊田市出身

- ① パズル
- ③ 旅行で47都道府県を制覇する



さ の めく み
佐野 恵美



看護師
愛知県豊橋市出身

- ① たくさん食べること
- ② おかめインコのほっぺだと思っていたところに耳があったこと
- ③ 世界のディズニーランドへ行きたい

もり さやか
森 紗矢香



ナースエイド
愛知県豊田市出身

- ① たくさん食べること。一番好きなものは唐揚げ
- ③ 大型二輪の免許を取る



あおき ひとみ
青木 ひとみ



ノアノア介護スタッフ
愛知県名古屋出身

- ① パン作り
- ② 送迎の際、自分の知らない抜け道が多いことにびっくりしたこと
- ③ フィンランドへ行ってオーロラを観る

おおた ゆか
太田 有香



通所リハ補助
愛知県常滑市出身

- ① 子どもと遊ぶこと
- ② リスのほっぺにヒマワリの種が10個入ること
- ③ 1人でご飯を食べている子のための食堂を運営したい



うめむら みさき
梅村 美咲



通所リハ補助
愛知県豊田市出身

- ① ぬり絵とつつし絵
- ② いつも買っていたチョコレートの袋にミニオン(ユニバーサルスタジオが制作した映画のキャラクター)が付いていた
- ③ ハワイへ行く



おおくぼ やoyo
大久保 ヤヨエ



通所リハ補助
愛知県豊田市出身

- ① ビーズ・折り紙・編み物・縫い物
- ③ たくさんのことを実際にやりながら学ぶことです!



いわた りえこ
岩田 利枝子



さんさん看護師
長崎県松浦市出身

- ① 千代紙で小物を作る
- ③ 家族で温泉旅行に行きたい



すずき ゆり
鈴木 有理



医療事務
愛知県岡崎市出身

- ① 地図を見ること
- ② 近所にたぬきが住んでいたこと
- ③ 本物のパンダを見たい



なかむら りょうこ
中村 良子



医療事務
兵庫県姫路市出身

- ① 硬式テニス、整理・整頓
- ② 刈谷ハイウェイオアシスがますます便利になっていたこと
- ③ 家族全員で富士登山に挑戦する



やまぎし くみ
山岸 久美



医療事務
愛知県豊田市出身

- ① ツムツム(LINEのアプリゲーム)
- ② ちくわぶがちくわじゃなかった(笑)
- ③ 日本一周旅行



施設を紹介します

Topic

リハビリテーションの 質の向上に向けて

～指導施設の認定を受けました～

作業療法士 川村 直希

作業療法士になるためには、学校での座学だけでなく、病院や施設などの現場で臨床実習を行い、その後、国家試験に合格する必要があります。臨床実習では、現役の作業療法士に付いて、患者さまとの接し方や検査方法、リハビリの進め方などの指導を受けます。臨床実習の指導は、免許を取得して3年以上の臨床経験がある作業療法士が行います。当院でも後進育成のため、年間を通して県内外からの実習生を受け入れています。

臨床実習の質の向上を図るため、日本作業療法士協会では、実習指導に関する知識や技術を習得した者を「作業療法臨床実習指導者」として認定する「臨床実習指

導者研修制度」を設けており、当院では2名の作業療法士が認定を受けています。また当院は、認定を受けた作業療法士が常勤している「臨床実習指導施設」の認定を全国で66番目に受けました。

今後も当院におけるリハビリの質の向上はもとより、リハビリ全体の質の向上につながるように、実習生指導にも力を入れていきたいと思ひます。



リハビリテーションセンター前に各専門資格の認定証とリハスタッフの紹介を掲示しています



当院が取り組む地域連携の活動をご紹介します。

第3回

連携交流会

地域連携推進部 すがはら りょうこ 菅原 陵子

「シリーズ地域連携」では、三九郎病院が地域の医療機関や住民の皆さまと一緒に取り組んでいる活動をご紹介します。

今回は、「連携交流会」を取り上げます。

地域連携推進部では2008年より地域のケアマネージャーを対象に年に4回から6回の連携交流会を行っています。

超高齢化社会を迎えた現在、病気の治療が終わった後、スムーズに自宅に帰れるよう、様々な取り組みが行われています。介護保険サービスもその1つです。担当のケアマネージャー（介護相談員）が一人ひとりに合ったサービスプランを作成することで、ヘルパーやデイサービスなど必要なサービスを受けられるようになり、自宅での介護のハードルが低くなります。

当院では、そのケアマネージャーを対象に連携交流会を定期的開催

しています。これは、当院のスタッフが講師となり、生活習慣病などの病気やリハビリテーション、病気の治療後の後遺症について学ぶ勉強会で、利用者さまやご家族からの相談やニーズに対応する際に役立てていただけたと考えています。

2013年からは、年に1回、病院のスタッフと参加者でグループをつくり、情報交換会を開催しています。これは、別名を「茶話会（さわかい）」といい、その名のとおりお茶を飲みながら、つながりのある人たちと楽しく交流する場です。普段から疑問に思っていることや連携をスムーズに行う方法など、ざっくばらんに話をしています。こうした顔の見える交流により、連携もスムーズになると考えます。

今後も継続して連携交流会を行い、患者さまが退院後に安心して自宅で介護を受けられるよう、連携を深めてまいります。

【過去のテーマ】

- 高次脳機能障害の症状と対応について
- 嚥下障害のある人の家での過ごし方
- クッションのポジショニング・安楽姿勢の作り方
- 回復期リハビリについて
- 脳卒中の話
自宅退院に向けた具体的な取り組み～目標設定ってどうするの～
- 脳卒中体験者に聞く
入院、退院、自宅での生活とこれからの目標について

写真：連携交流会の様子



患者さまが自分の体験談をお話してくださいました



多職種がグループで情報交換として、退院後の患者さまの様子やスムーズな連携の検討などを行っています



直接、病院のスタッフと情報交換ができる貴重な機会でした
(参加したケアマネージャー)

当院のスタッフが講師になって勉強会をしています

茶話会



前回は、副院長の小池医師が自ら、自宅から持参したコーヒー豆でドリップコーヒーをふるまいました！

第14回リハビリプロジェクトより 随意運動介助型電気刺激装置 (IVES/アイビス)

リハビリテーション部 作業療法士 諏訪田 紋

近年、手足の運動まひに対して、電気治療器を用いたリハビリテーションが注目されています。

まひのある方が、動かない筋肉を自ら動かそうとすると、微弱な筋活動が起こります。随意運動介助型電気刺激装置「IVES (アイビス)」は、その筋活動を感知し、電気刺激をまひした筋肉に与え、その動きをサポートします。自分が動かそうとしたときにのみ電気が流れるため、患者さま自身が手足を動かすイメージを持ちやすいという特徴があります。

当院でも作業療法の一つとして行っています。実際に IVES を使用した患者さまからも「手の動きがよくなった」「手が使えるようになった」「手が軽くなった」などの感想が寄せられています。

適応する疾患・症状

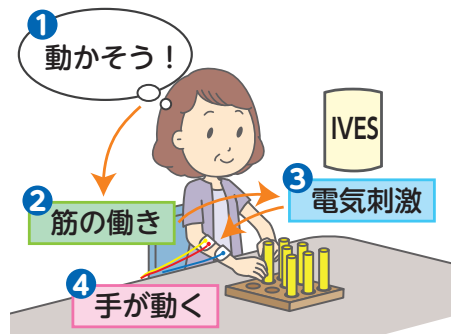
脳卒中 (脳出血、脳梗塞)、脳腫瘍、脊髄損傷 など

* 筋肉の収縮を拾うため、収縮がない方は対象外となります。

* 発症直後だけでなく期間が経過した方にも効果があると言われています。

すべての患者さまに適応するとは限りませんので、当院リハビリ医師または担当療法士におたずねください。

また、過去の治療成果について学会発表も行っています。



負担のかからない介助方法
& 家でできるリハビリ

No. 15

半側空間無視の方の生活の工夫

作業療法士 磯村 菜央・佐竹 優衣

「半側空間無視」とは、脳の障害により空間の半分を無視してしまう状態のことです (詳しくは「めだか」71号をご覧ください)。まずは、無視している側の動作を促すよう、認識しやすくするための生活環境への配慮が必要です。今回は、左側の半側空間無視の方のご家庭での生活の工夫を紹介します。

安全の工夫 認識しやすい右側に物を置きましょう

- 部屋の中を整理整頓し、床には物を置かないようにする
- 毎回、同じ方法・環境で生活できるように動線を考え、移動時に認識しやすい右側に注意が向くように家具 (椅子や机など) の配置を検討する

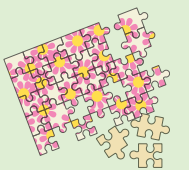


【例えば】

- 食事に必要なものを右側に置く

注意を向ける工夫 動作が安定して行えるようになってきたら、気付きにくい左側の空間や左側の体に意識を向けるリハビリをしましょう

- テレビやラジオなど注意の向きやすいものを左側へ置いて空間を意識させる
- 左側の空間を認識しやすいぬり絵やパズルなどを行う
- 左手をさすり、体の左側へ刺激を入れる
- 左側へ意識を向けるように声掛けし、左側のものを自分で探索させる



【例えば】

- ドアの左側にノブがある場合は、左側から声を掛けたり、ドアを触って探す練習をする

「もう一度、確認してみましょう」のような、本人の気付きを促す声掛けをして、認識できる空間を徐々に広げていくことが大切です

なるほどサポート

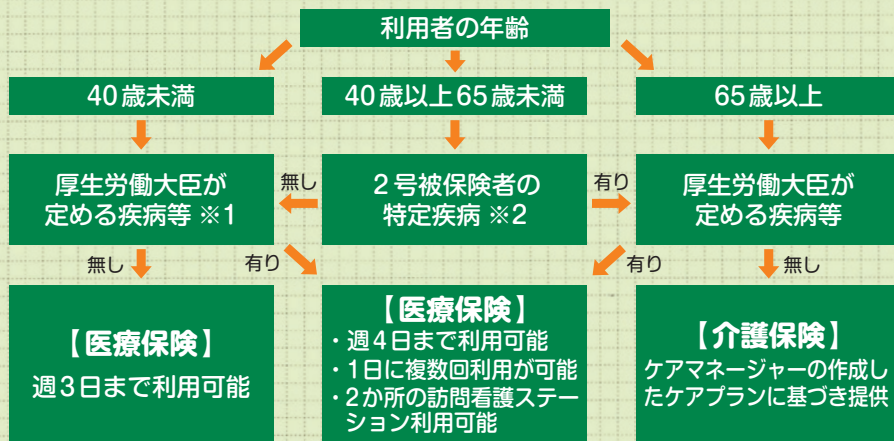
訪問看護ステーションから

訪問看護ステーション 喜多 きまえ

訪問看護を利用する費用

医療保険と介護保険どちらを使うの？

一般的に診療報酬上では、同じサービスに対して、医療保険と介護保険を一緒に使用することはできません。しかし、訪問看護の費用は、利用者の状態によって医療保険と介護保険を適切な判断のもと、使い分けることができます。



※1 厚生労働大臣が定める疾病等：介護保険の利用者でも訪問看護を医療保険で行える疾病
 ※2 2号被保険者の特定疾病（とくていっぺい）：2号被保険者（40歳以上65歳未満）が介護保険を申請できる疾病

● Aさん（80歳男性）の場合

肺疾患で入院を勧められましたが、在宅療養を強く希望したため、訪問看護を利用し始めました。

- **介護保険**を使い、週2回の訪問で内服管理や保清*などを実施（年齢65歳以上→厚生労働大臣が定める疾患等『無し』→**介護保険**）
- 徐々に食事が取れなくなり**医療保険**に変更し、訪問で点滴治療に変更（年齢65歳以上→厚生労働大臣が定める疾患等『有り：在宅患者訪問点滴注射管理指導料を算定しているもの』→**医療保険**）

訪問時間や医療保険の種類によっても料金体系が変わりますので、詳しくはご相談ください。

三九朗病院訪問看護ステーション ☎0565-34-2323

SHIN-SHIN とよたが発信します！

SHIN-SHINとよたからお知らせ

新しい年を迎え、「健康」を見直そうと考えている方に、SHIN-SHIN とよたで行っている運動を紹介します。

当施設では、安心・安全に運動を行っていただくために、運動前後に血圧測定を行います。血圧を測ることにより、当日の体調を確認することができ、運動中の体調不良を防ぐことにつながります。

有酸素運動

効果

- 生活習慣病の予防・改善
- ダイエット（減量）
- 心肺機能の向上・改善

年齢や体力に応じて、心拍数を用いて負荷を決定します。

<運動例>

ウォーキング
エアロバイク
エアロビクス



筋力トレーニング

効果

- 筋力アップ
- 基礎代謝量を上げる
- ロコモティブシンドローム*の予防



*ロコモティブシンドローム：筋肉・骨・関節・軟骨・椎間板といった運動器に障害が起こり、「立つ」「歩く」といった機能が低下している状態のことをいいます。

ストレッチ

効果

- 柔軟性の向上
- 疲労回復
- けがの予防



ストレッチは運動前・運動後に実施していただきます。

SHIN-SHINとよたでは無料体験受付中！ スタジオ参加もできます！！

- お問い合わせ：SHIN-SHINとよた ☎0565-34-6272（直通）
- 体験受付：10:00～19:00 ● 休館日：日曜日



Facebook ページに「いいね！」してね♪